

ま え が き

京都府教育委員会では、児童生徒の豊かな心をはぐくむために、人間としての生き方を見つめ、ともに学び、考え合う京都府独自の「心の教育」学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」を作成し、平成19年4月から府内の全小中学生に配布しています。

また、この学習資料集の積極的な活用を支援するため、平成19年度には「活用事例集」、平成20年度には「実践事例集」を作成し、各学校に配布してきました。これらの「事例集」をもとに、各学校においては、道徳の時間をはじめ様々な時間での活用が進んでいます。

この度、平成20年度以降、各学校において取り組んできた優れた実践事例をまとめ、「実践事例集第2集」として発行することになりました。

平成20年3月には、新学習指導要領が告示され、道徳教育の充実を一層図っていくことが、今回の改訂の重要な柱の1つにあげられています。その中で、「児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発」が示されていますが、京都府においてはこの学習資料集がまさにこの「魅力的な教材」に当たると考えています。

各学校においては、本実践事例集を有効に活用され、「心の教育」が一層充実してまいりますよう期待いたしております。

結びに当たり、本実践事例集の作成に御協力いただきました各学校及び市町(組合)教育委員会をはじめ関係の皆様から心から感謝を申し上げます。

平成22年3月

京都府教育委員会

教育長 田原博明